

# 公道走行試験について

2013年5月16日

日産自動車株式会社

トヨタ自動車株式会社

# 公道走行試験の必要性

事故や交通渋滞等のない車社会を目指して高度な運転支援技術の開発を官民挙げて推進中

高度運転支援技術の開発・商品化にあたっては、テストコースやシミュレーター、更には模擬市街路での評価に加え、実際の交通流の中で適合性を見極めることが大変重要で、実環境下での公道走行試験が不可欠

各社合同のACC公道走行試験風景

(ACC: Adaptive Cruise Control)

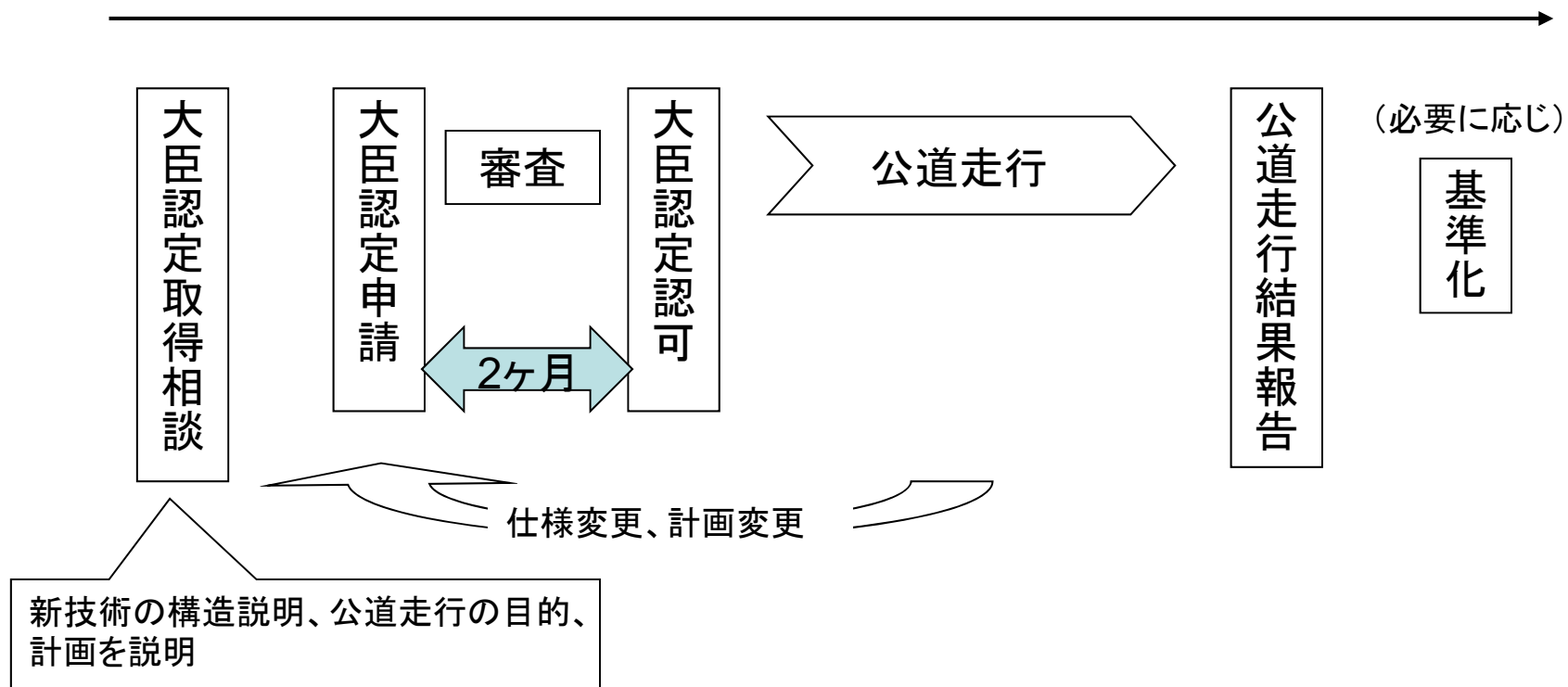
車間距離センサーで車間距離を自動的に維持すると共に、速度変動を最小化し、渋滞緩和及び燃費向上に寄与する。



# 公道走行試験実施までの流れ

保安基準※<sup>1</sup>に適合していないシステム・車両に関しては、大臣認定※<sup>2</sup>を取得することで可能

## 大臣認定制度運用プロセス



※1:保安基準;道路運送車両法第40、41、42条に規定される基準

※2:大臣認定:道路運送車両の保安基準第56条第4項に記載される認定制度

# 大臣認定に関するメリット

- ①技術力の不明な者の安易な参入による不安全車両の公道走行の防止と、それに伴う技術普及の妨げを防ぐことができる。
- ②官民で公道走行で得た知見を織り込んだ先進技術の国際基準作りができる。
- ③新技術の社会的受容性等の早期確認につながる。

# 大臣認定に関する要望

- ①大臣認定認可を1日でも早く頂けるよう、大臣認定期間（申請～認可）の期間短縮の検討をお願いします。
- ②新技術の構造説明、公道走行目的、計画の詳細説明を効率化いただきますようお願いいたします。
- ③大臣認定期間中に車両仕様や試験計画を変更した際、変更内容が軽微なものについては、事後届出等柔軟な運用の検討をお願いします。